整理No.	73

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	451-02	基本施策	国際化の推進	所管部局	企画政策部
施　策　名	多文化共生の推進			主担当課	秘書課国際室
				関係部局課	教育委員会学校教育課・生涯学習課
施策の目標	学校・地域での国際教育の充実や多言語での生活情報の提供などにより、相互理解の促進と外国人が訪れやすく、暮らしやすい環境を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・社会の国際化が急速に進展する中で、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化を認め合い対等な関係を築くとともに、地域社会の構成員として共に生きていくことができる環境が求められている。外国籍住民に行政サービスを提供する市が、多文化共生施策の担い手として果たす役割は大きいことから、日本文化と異文化の相互理解を促進する。また、学校教育や生涯学習における国際感覚の育成と国際理解を促進し、国際的な幅広い知識と視野を持つ人材を育成する。 ・外国籍住民には、日常生活を送る上で必要な日本語能力や日本社会に関する知識、理解の不足により不安を抱える者がいることから、多言語による生活情報を提供する。また、外国籍住民が日常生活において困難に直面したときに、必要な支援を受けられ、悩みや相談事を解決する場所が十分に確保されていないこと、学校生活において必要な日本語能力が十分でない外国籍等への教育的支援が欠かせないことから、日常生活や学校生活における相談・支援体制の充実を図る。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
国際交流コーナーの年間利用者数	人	12,412	12,179	10,543				14,200
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
国際交流コーナーの年間利用者数（年度末計）	平成25年度利用者数で前年度より1,636人（13.4%）減となった。コーナーの独自企画の内容をさらに充実させるとともに、ホームページ等による情報発信力を強化することにより、利用者の拡大を目指す。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							

25年度の取組内容実績	・国際交流コーナーや公民館、学校などで市民と外国人の交流する場・機会を設け、異文化理解講座を開催するなど、日本文化と異文化の相互理解を促進した。また、市民サークルなどへの国際交流員（CIR）の派遣や小・中学校への外国語指導助手（ALT）の派遣、一校一国運動などの交流活動、公民館での国際理解講座の開催などを通して、国際感覚の育成と国際理解を促進した。 ・外国籍住民には、外国語による生活ガイドブック（５言語）の発行や多言語ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝの放送（４言語）などの多言語による生活情報を提供し、国際交流コーナーなどの日本語教室や母語相談の開催、小・中学校への日本語巡回指導員の派遣などを行い、日常生活や学校生活における相談・支援体制の充実を図った。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	概ね順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	本市と同様に多文化共生推進事業を実施している県国際課、県国際化協会などの関係機関と情報交換等を適宜行い、事業の連携に努めており、外国籍住民の日常生活や学校生活の状況に応じた必要で適切な情報提供と支援・相談体制の充実を図っている。特に国際交流コーナーは、多くの外国籍住民と日本人ボランティアから様々な情報や要望が入るなど、外国籍住民の情報交換と交流の場になっており、多文化共生の推進に関する各事業はニーズに沿った事業を展開している。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	国際交流コーナーの利用者数は、平成25年度実績で減となったものの、安定的に推移しており、目標を概ね達成している。開設から10年を超え、市民の「国際交流や国際交流団体の活動拠点の場」また、外国籍住民への「情報提供及び支援の場」として定着し、特に外国籍住民にとってなくてはならない場所として機能している。**小・中学校への日本語巡回指導員の派遣については、母国対応率が100%には届かないものの、概ね対応ができている。**
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	平成25年度の国際交流コーナーの年間利用者数が前年を下回ったものの、国際交流コーナーの主要事業である日本語教室に係る外国籍住民の需要は根強く、授業内容の充実を図る必要も大いにある。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	・国際交流コーナーをより多くの市民が利用すること。 ・国際交流コーナーの安定した運営	・ホームページやFacebookを活用するなど、多様な手段で周知していく。 ・日本語教室や日本文化体験講座などに協力してもらえるボランティア講師を適宜募集し、教室、講座が安定的に開催できるよう努める。
2	地震等災害時に、日本語に不慣れな外国籍住民に対して必要な情報を、多言語で速やかに提供していく体制の整備	県内災害時の外国籍住民の支援について検討する県主催の「災害時の外国籍住民支援ワークショップ」に参加し協力するとともに、情報収集に努め、県や県国際化協会などと連携し、本市の支援体制の構築を図る。
施策展開の方向性（H26年度以降）	・外国籍住民の誰もが生活しやすい安全な環境づくりを推進していくため、国際交流コーナーの継続的かつ安定した運営を図っていく。また、多くの市民に国際交流や異文化に関心を持ってもらうために、国際交流イベント「おぉ！地球人ワールドフェスタIN長野」を引き続き開催し、定着させる。 ・学校教育では、日本語指導を必要とする外国籍等児童・生徒に対し日本語巡回指導員の派遣を継続して実施し、日本語指導教室が設置されていない学校の体制整備を強化していく。 ・生涯学習では、　公民館等の生涯学習施設において外国籍住民との交流や国際理解などを学習する機会の提供に取り組む。	

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の状況									
1	国際交流コーナー管理運営 ［サービス提供事業］ 秘書課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		市民の国際交流や国際交流団体の活動拠点の場、また、外国籍住民への情報提供及び支援の場となる国際交流コーナーを運営する。					・異文化理解講座、交流ｲﾍﾞﾝﾄの開催 ・市民による国際交流活動への支援 ・外国籍住民への情報提供 ・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ講師による日本語教室、日本文化体験講座、母語相談等の運営				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	A	A	継続	6,409	6,142	6,196	6,574
2	在住外国人支援事業 ［サービス提供事業］ 秘書課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		国際化に対応し、外国籍住民にとって住みやすいまちとするため、国際交流市民会議の開催や生活情報誌の発行等を実施する					・国際交流市民会議開催 ・外国語による生活ガイドブック（英語版、中国語版、ポルトガル語版、ハングル版、タイ語版）の発行、多言語ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝの放送 ・国際交流員の国際理解講座派遣				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	B	B	継続	10,830	9,460	9,085	9,197
3	外国人児童生徒等教育 ［サービス提供事業］ 学校教育課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		小中学校に在籍する外国籍等の児童・生徒に日本語指導や学校生活に係る支援を行う。					・外国籍等の児童生徒に対して、母語を使った日本語指導を行う巡回指導員を派遣 ・情報の共有や学校間の連携を図るための、運営協議会や連絡協議会の開催				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	B	A	B	B	継続	7,798	7,572	7,939	8,273
4		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26